



## Data

(TDB企業コード: 260936396)

**千葉美装 株式会社**

所在地 南房総市市部798-3

代表者 白幡 進氏 (昭和22年2月生)

電話番号 0470-57-2816

創業 1962年(昭和37年)7月

設立 1982年(昭和57年)11月

資本金 1000万円

業種 産業廃棄物収集運搬業

千葉県知事許可 第1220017410号



代表取締役社長 白幡 進氏

**リサイクルに尽力する産廃中間処理業者**

産業廃棄物処理業者の千葉美装(株)は、1962年創業の老舗。昨年10月に代表取締役社長に就任した白幡進氏は、南総地区を代表するゼネコン、白幡興業(株)(館山市)の出身で、同社社長の白幡賢氏は実兄に当たる。ご兄弟で現在の白幡興業(株)(グループ企業を含む)を築いてこられた白幡進氏は、主に現場責任者として第一線で活躍されてきた。

いま日本の産業界は未曾有の不況が直撃している。中でも建設・不動産業界は上場企業の倒産が続出。工事数の減少や企業の設備投資の冷え込みも厳しく、産業廃棄物処理業者を取り巻く環境は厳しさを増している。

新たに千葉美装(株)を率いる白幡社長に、同社の取り組みやご自身のこれまでの歩み、経営哲学などについてお話を伺った。

——御社の事業内容と社長になられた経緯を教えて下さい

「千葉美装(株)では、産業廃棄物の収集・運搬、中間処理を行っています。そのほか、ビルのメ

ンテナンス業とそれに伴う清掃業、土木工事業なども手掛けています。近隣地区の建設業者が主な得意先です。産廃事業は比較的新しく、2000年頃から始めました。当社は、前代表で今も取締役として活躍している久江が設立した会社です。白幡興業時代からのお付き合いが縁で、社長に就任することになりました。

久江前社長も含めて、従来からのスタッフが残ってくれているので心強いですね」

——産廃業者としての御社の特徴、強みを教えて下さい

「いつも考えていることは“環境保護”です。環境プランナーの資格も取得しました。社員1人ひとりが“環境保護”に対する情熱を持っています。産業廃棄物の収集・運搬はもちろんのこと、中間処理業者として、最終処分の廃棄物を少しでも減らすこと。出来る限りリサイクルをして資源を有効に活かすことが我々の使命だと考えています。

そのための設備投資も実行してきました。現



エコRCセンターに集結した車両設備

在はエコRCセンター（南房総市荒川）とエコウッドセンター（鋸南町奥山）の2カ所で処理しています。エコRCセンターでは、金属くず、ガラスくず、瓦礫・コンクリくずを扱い、1日当たり約330tの処理能力があります。

エコウッドセンターは、木くずを中心に扱い、破碎プラント2基（1日当たり処理能力約248t）を有し、発酵による減容と堆肥化するという中間処理方法での許可を得ています」

—産業廃棄物のリサイクルは、今や地球規模の関心事と言えますね

「その通りです。特に日本は資源のない国ですから、徹底的に無駄をなくして、資源を有効活用しなければなりません。産業廃棄物と言うと、一般的には建設現場の廃材や土砂をイメージされると思いますが、あらゆる業界から大量に排出されています。当社のリサイクル方法も少しづつ変わってきました。

2年前までは木くずから堆肥を作っていたのですが、完成品が出来るまでに時間が掛かり過ぎるので、昨年からはバイオマス製造（再生可能な生物由来の有機性資源）に変えました」

—社長になられて何か変わられたことはありますか

「白幡興業時代は、技術屋として現場を任せられました。“専務”という立場でしたが、資金繰りや人の採用などは社長が担当してきたので、経営者として一番厄介なことはあまり経験してこなかったのです。今は社長業の大変さを実感しています。それでも今まで経験したことが无形の財産になっているのを感じます。お客様や社員など、“誰に対しても相手の立場になって考えて行動すること”。どんな時にも“謙虚な気持ちを忘れないこと”を肝に銘じています」

— これからのお目標をお聞かせ下さい

「若いスタッフに恵まれているので、あと5年のうちには企業基盤をさらに強固にしたいです。人材育成、財務面の強化などに注力しながら、確実に成長していきたいですね。いま出来ることを誠実に実行していくだけです」

— 白幡社長は、別会社の経営にも携わっておられますね

「2004年6月に（株）せんたつ（登記上の商号は千辰）という不動産会社を設立しました。南房総でセカンドライフを送りたい方に、土地探しから物件紹介・ライフプランサポートまであらゆるアドバイスをする仕事です。

また、国道127号沿いに「たてやま とれたて市場 健人館」を共同経営しています。南房総ならではの旬の食材や花を取り揃えていますので是非お立ち寄り下さい」

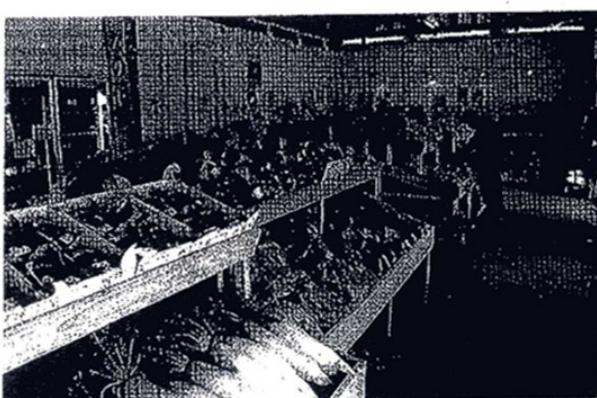
— 最後に、白幡社長のモットーをお聞かせ下さい

「謙虚な気持ちを忘れず、誰に対しても誠実に向き合うこと。あとは健康です。今でも登山やソフトボールが好きでプレイしていますし、ここ数年“館山若潮マラソン”にも参加しています。仕事も遊びも全力でやりたいものですね」

●（株）千辰（資本金1000万円、館山市那古560-1、電話0470-20-5522）<http://sentatsu.jp/>

●たてやまとれたて市場健人館

（館山市那古559：国道127号沿い、開館は午前9時から午後6時、電話0470-20-5227）



とれたて市場の店内、生産農家の数は250軒以上